



「18億円を売り上げ目標としていたが実際には17億円に止まった。」
 「今年特に力を入れることは、新規市場への参入、既存業務の範囲拡大、業務効率の徹底向上、新規顧客の開拓、新規業務の開拓の5つである。」
 「業務効率の徹底向上を図るため、分析業務の部門でトヨタ生産方式を取り入れた。分析業務でも大量に早く正確に低コストでデータを提出する要請が強くなっている。現在、PEC産業教育センターの山田昌志氏の指導により、分析室の工程の見直しを行っており、作業に無駄な動きがないレイアウトに修正している。」
 「分析機器の買い替えの際も機械でできる作業は自動化し、従業員は技術者としてランクを上げるような指導もしている。」
 「同時に、PECの養成講座でトレーナーの資格を得たり、メーカーが現場に入り、工程に『カイゼン』目標を立てさせ、残業を減らすことが出来た。今後さらに努力していく。」
 「温暖化防止のため」

大角武志氏

社長
オオスミ

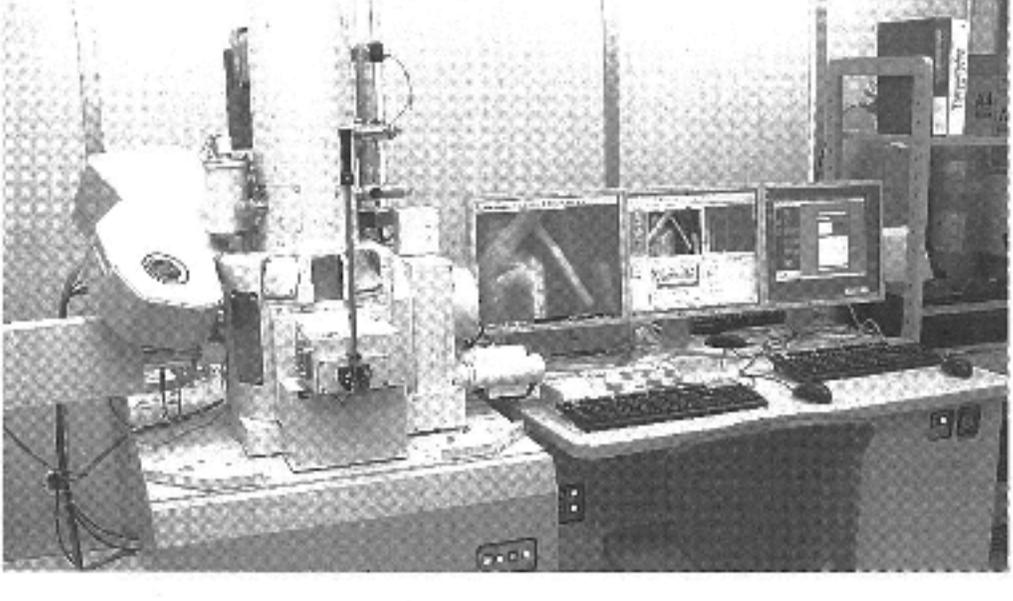
「当社の使命は『安心』と『安全』を環境面から提供し続けることである。新規事業への参入の一つとして、環境の専門家を中心に行っているが、今後は近県にも営業範囲を拡大していきたい。」
 「他の新商品は、アスベスト調査のために購入した電子顕微鏡を生かして、電子電気・精密・輸送機器製造業を対象にした、材料・品質分析を請け負う新商品を昨年から開始した。通常の分析業務は、受託し

材料分析で提案型商品 社内業務改善も積極的に

「温暖化防止のため」
 門部がない中小企業に、環境部長の役割を代行して指導するコンサルテック業務を新商品として売り出した。法律や条例の改正によって、顧客にどのような社会的責任が生じるかを調べ、また、省エネに対する提案もしている。一般的なコンサルテック会社と異なり、現場を計測する技術

小企業でも品質管理の向上に役立ててもらえるものと思っている。機密保持のためにも電子顕微鏡室は別棟に建てた。海外事業にも乗り出した。途上国での環境に適合する業務を行っている。インドやクアタマラ、シリアなど、この1、2年で10件位あった。東京支

店の機密・開発グループが、国内外のCDMを始め様々な業務をしている。CDMに関しては海外の工場等で温室効果ガスの削減可能な例を調査している段階である。」
 「社会貢献では、経済利益の1割をNPO、市民団体に役立ててもらう活動を展開している。その他に、当社を合め横浜市の環境計量証明機関10社で組織されて



「横浜市民環境技術協議会」での活動も行っている。同協議会とは横浜市と防災協定を結び、災害時の有害化学物質の漏えい事故などの際には調査分析支援をすることになっている。本年は横浜

市開港150周年に当たるとは、アレイベントに際し、同協議会でも横浜市の水質を顕微鏡で見るとして参加・協力をした。」
 (おおすみ・たけし)

アスベストを分析中の電子顕微鏡

OSUMI 株式会社オオスミ

20年の実績！
アスベスト

アスベスト含有は
3000検体以上、
気中濃度は
40000検体以上の実績！

- 建材石綿含有率測定：Aランク評価者2名在籍
- 空気中の石綿計測分析：Aランク評価者1名在籍
- アスベスト診断士：5名在籍

TEL 045-924-1050 指定調査機関 (環 2003-1-85 号)



20年の実績！
土壌汚染

●当社調査地

3大都市圏を中心に全国
2000箇所以上の土壌汚染調査



空気の中も、地面の中も得意です。

アスベスト 土壌汚染の調査・測定、分析・コンサルティング

<http://www.o-smi.co.jp>

お問い合わせ窓口 045-924-1050 横浜本社
株式会社オオスミ 03-3219-5021 東京支店